

平成24年度第65回千葉県高等学校総合体育大会
登山大会クライミング競技プログラム

- 1 主催 千葉県高等学校体育連盟 千葉県教育委員会
(公財) 千葉県体育協会
- 2 後援 千葉市教育委員会 千葉県山岳連盟
- 3 主管 千葉県高等学校体育連盟登山専門部
- 4 趣旨 県下高校教育の健全な発達と高校スポーツの振興をはかり、併せて平成24年度第3回全国高等学校選抜クライミング選手権大会および第15回JOCジュニアオリンピックカップ大会の本県代表選抜を行う。
- 5 期日 平成24年6月16日(土)
- 6 会場 千葉県立幕張総合高等学校クライミングウォール
千葉市美浜区若葉3-1-6 電話043-211-6311
- 7 大会役員
名誉会長 鬼澤 佳弘 森田 健作 宇野 仁章
会長 萩原 出
副会長 佐久間嘉宏 遠藤 辰男 植草 完
越川 均 吉原三千男
大会委員長 都丸 輝信
大会副委員長 津田 亘彦 斎藤 弘道 岩崎 喜司
- 8 競技役員
競技委員長 三浦 晃靖
審判長 目次 俊雄
式典・表彰 原 政樹・関 研一
会計 高野 義教

1 大会日程

6月16日(土)

- 8:00 常任委員集合・打合せ(クライミングウォール前)
開場
- 8:30～9:00 受付
- 9:05～9:20 役員打合せ(クライミングウォール前)
- 9:30～9:45 開会式 司会：関
- ・登山専門部長挨拶 吉原部長
 - ・選手宣誓 千葉北高校主将 熊 健太
 - ・競技説明・諸注意 審判長
 - ・諸連絡
- 9:45～9:55 男子予選デモンストレーション(2本のルート)
- 9:55～10:00 女子予選1本目のルートのデモンストレーション
- 10:00～ 男子予選競技開始(競技時間6分)
※男子2ルートの2本を同時進行
※男子予選は20名ごとにクリーニングを行い、2回目のクリーニングは15分間の休憩時間とする。
- 10:10～ 女子予選1本目の競技開始(競技時間6分)
※男子2ルート、女子1ルートの3本同時進行
※女子予選1本目16名終了時にクリーニング
- 12:30 女子予選1本目のルート競技終了
- 13:00～13:05 女子予選2本目のルートのデモンストレーション
- 13:10～ 女子予選2本目の競技開始(競技時間6分)
※女子予選2本目16名終了時にクリーニング
- 15:30 男女予選競技終了
- 15:40 <男女決勝進出者各8名はアイソレーションゾーンへ>
男女決勝ルート設定
- 16:40 男女決勝オブザベーション(6分)
- 16:50～ 男女決勝開始(競技時間8分)
- 17:30 男女決勝終了
- 18:00～ 表彰式 司会：原
- ・成績発表 審判長
 - ・表彰 登山専門部長
 - ・講評 競技委員長またはルートセッター
 - ・登山専門部長挨拶 吉原部長
 - ・諸連絡

2. 競技方法及び競技規則

原則として IFSC の国際ルール 2012 に準じて行う。

予選はフラッシング・リード方式、決勝はオンサイト・リード方式

<予選>

- 1 各選手は2本のルートを登る。(男子2ルート、女子の1ルートの競技を同時進行。)
- ② 競技時間6分。待機場所の椅子を立ち上がり、ビレイヤーが合図した時点から時間計測開始。40秒以内に登り始めなければならない。
- ③ 登り終わった選手や観客は競技中の選手にムーヴを教えるはならない。

<決勝>

- ① オブザベーション時間6分間。
オブザベーション時にメモや双眼鏡の使用はできるが、写真やビデオ撮影は禁止。競技順1～3番の選手はハーネスを装着し、必要な荷物をコールゾーンに運んでからオブザベーションを行う。
- ② 係の指示により、コールゾーンに移動し、ハーネスを装着、シューズを履き、リードの場合はロープを結んで待機する。ロープは必ず二重8の字結びで結ぶ。移動の際、自分の荷物はすべて持っていくこと。
- ③ 競技時間8分。競技エリアに入った時点から時間計測開始。40秒以内に登り始めなければならない。
- ④ アイソレーションゾーンには携帯電話、電子通信機器類の持ち込み禁止。

<共通>

- ① ルートはテープで示したホールドのみを手足限定で使用して登る。
- ② テープで示したホールド以外を使ったり、ハンガーボルトを踏んだ場合には同じ場所で1回目警告、2回目競技終了を原則とする。それらを使って進んだ場合は元の位置に戻る。元の位置に戻れない場合には競技終了とする。
- ③ すべてのクイックドロウに順番にクリップすること。Zクリップをした場合は、クイックドロウを外して再び正しくかけ直すこと。
- ③ 選手はいつでも残り時間を聞くことができる。
- ④ 次の場合には競技が中止され、最高到達点が計測されて成績となる。
 - ・墜落した ・競技時間を越えた ・人工的補助手段を用いた
 - ・使用が制限されているホールド・壁の一部・はりぼて、ハンガーボルト(1回目注意、2回目中止)、クイックドロウを登るために使用した。
 - ・クリップすべきカラビナに手で触れることのできない位置まで進んでしまった。
 - ・下のクイックドロウにクリップしないまま、次のクイックドロウにクリップした。
 - ・アテンプト開始後、体の一部が地面に触れた。

⑤ ゼッケンは背面中央のよく見える位置に付けること（足などに付けない）。

<テクニカルインシデント>

次のような場合、選手は申告すれば登り直すことができ、よい方が成績となる。
申告せずに登り続けた場合にはその権利を失う。

- ・ホールドの回転
- ・2回以上たぐってもロープが来なかった など。

※クライミングシューズの裏に剥がれたテープが付いた場合はテクニカルインシデントにはならないので十分注意すること。

3. 順位決定方法

①個人順位

- ア ルートのラインに沿った最高到達位置で選手の順位を決定する。
- イ 同順位が存在する場合は、予選へのカウントバックを適用する。
- ウ 決勝でア、イによって同順位が出た場合には、最高到達位置までの時間記録の短い方を上位とする。

②団体順位

- ア 団体順位は、同一校の上位3名の選手の個人順位を合計した値で決定する。
- イ 個人順位に同順位がある場合は、その共有平均を個人順位として計算する。
例) 2位の選手が3名いる場合の共有平均 $(2 + 3 + 4) \div 3 = 3$
6位の選手が4名いる場合の共有平均 $(6 + 7 + 8 + 9) \div 4 = 7.5$
- ウ 団体順位の等しい学校が生じた場合は、より上位の個人順位を含む学校を上位とする。
- エ 上記ウの結果同順位の学校が生じた場合は、団体順位のカウントバックを適用し、予選の団体順位上位校を上位の成績とする。

4. 注意事項

- ① 更衣場所は、控室（1階クライミングウォール裏の多目的室1・2）を使用。
- ② トイレは1階のトイレを使用。
- ③ 観客席は、表示してある立入禁止区域とスタッフエリアを除いた1, 2, 3, 4階の所定の場所。教室及び5階以上は全面立入禁止。
- ④ ゴミは各自で持ち帰ること。
- ⑤ 貴重品の盗難には各自で十分注意すること。
- ⑥ 学校の敷地内は全面禁煙。引率者、保護者、応援者などの喫煙は敷地外の路上などで行うこと。
- ⑦ 選手の競技中は応援を行うこと。

<競技役員役割分担>

競技委員長 三浦

審判長 目次

審判 男子予選A：阿部安津史、小平

男子予選B：滝内、江野澤

女子予選：有地・青木

男子決勝：有地・小平

女子決勝：江野澤・阿部安津史

集計・成績掲示 関・原・浅野

チーフフルーツセッター 立木孝明

補助セッター 大井・阿部雅史・三浦

ビデオジャッジ 眞田・高野・大川・高山・中川・

記録写真 住吉

式典・表彰 関・原・浅野

ビレイヤー 男子予選A：大井・島津・和田・鈴木

男子予選B：樽・阿部雅史・梶谷・_____

女子予選：植木・飯田・中村伸明・_____

男子決勝：大井・阿部雅史・植木

女子決勝：島津・樽・和田

タイムキーパー 男子：高木・鷓沢・今関

女子：佐久間正秀・井上・古川

選手呼出誘導・アイソ 男子：加藤・神品・白石

女子：佐久間美弥子・川瀬

放送・音楽 松本・神林 ※補助生徒（幕絵）

受付・会計 高野・荒川（加藤・川瀬）※補助生徒（幕絵）

<物品の準備>

賞状、メダル : 樽

ゼッケン黒100、赤50 : 関

配布資料 : 三浦

救急薬品 : 関

ノートパソコン : 関

プリンター : 関

コピー用紙 : 関

ブルーシート	: 関
マイクアンプスピーカーセット	: 関 江野澤?
音楽CD・デッキ	: 江野澤
ビデオテープ	: 関
ビデオカメラ・三脚	: 目次 高山 高野 江野澤 (真田)
記録用カメラ	: 目次
クライミングロープ	: 目次
クライミング用マット	: 目次
環付きカラビナ	: 目次
ATC	: 目次
クイック&ドロウ	: 目次
テープスリング	: 目次
インパクトドライバー	: 目次
六角レンチ	: 目次
ブラシ	: 目次
ホールドかご	: 目次
ストップウォッチ	: 目次
クリップボード	: 目次
ルート図用紙	: 目次
カラー粘着テープ	: 目次
筆記用具	: 高野
高体連旗	: 齋藤